

ピーマンの育て方

ピーマン…ナス科
原産地：南アメリカ

■年間作業カレンダー

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
標準地				種まき		追肥	収穫期					
寒冷地				種まき		追肥	収穫期					
暖地			種まき			追肥	収穫期					

トウガラシの仲間には、辛味のある鷹の爪などの香辛料用と、辛味のない青果用、また五色トウガラシのように観賞用があります。

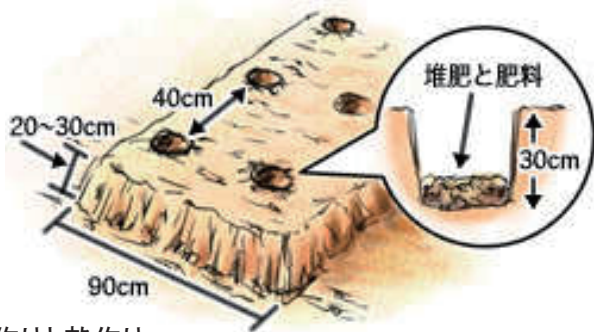
■品種

果実が緑のピーマンだけでなく、赤や黄色のパプリカ(大果系)等があります。

■栽培条件

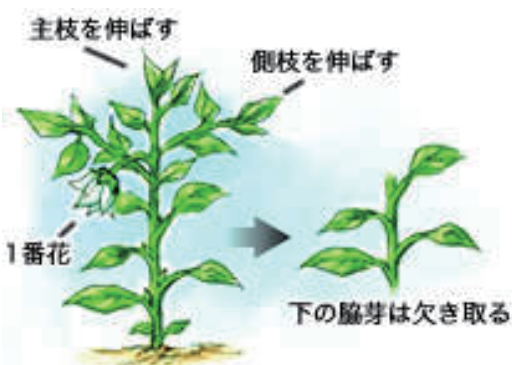
高温を好み、生育適温は25～30℃です。
気温や地温が低いと初期の生育が悪くなったり、花が落ちたりします。
霜の心配がなくなる4月下旬～5月上旬に苗の定植をしましょう。
また、日当たりが良く、排水及び保水性のある、肥沃な土地が適します。酸性土壌は好みません。
連作障害を避ける為に、同じ場所にナス科の植物を作らないようにしましょう。

庭や畑で作る



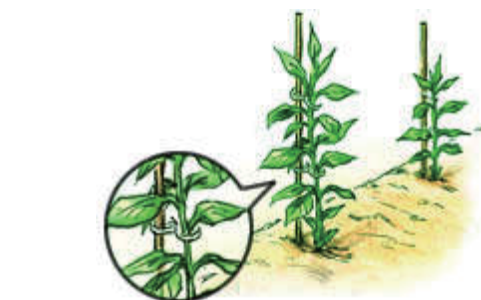
1. 土作りと畝作り

定植の2週間前に、1㎡当たり100gの苦土石灰を全面に散布し、深く耕します。
その1週間後に畝を作り、株間40cm、幅30cm、深さ30cmの穴を掘ります。
その中に元肥として腐葉土又は堆肥を2kg、暖効性化成肥料を適量施します。
そして、上に掘り起こした土を少し戻します。



3. 整枝と追肥

実付きを良くする為、1番花の下のおき芽は早めに除去し、3本に仕立てます。1番花の上の枝を伸ばします。また、植えてから3週間後から、月に2回程、化学肥料を適量施します。



2. 苗の植えつけ

根を崩さず傷めないように苗を植えつけます(傷めると活着が悪くなります)。
この時、穴の中にアブマイヤーをまいてから植えつけると、アブラムシなどの害虫の予防になります。
風で苗が倒れないように支柱を立てます。
茎と支柱を、ビニールのヒモ等でゆるく8の字に結びます。



4. 収穫

開花後およそ15日程で収穫ができ、果実が大きくなり過ぎないうちに収穫した方が、おいしく食べられます。

